

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】令和 3 年 9 月 30 日 (2021.9.30)

【公表番号】特表 2020-500019 (P2020-500019A)

【公表日】令和 2 年 1 月 9 日 (2020.1.9)

【年通号数】公開・登録公報 2020-001

【出願番号】特願 2019-524347 (P2019-524347)

【国際特許分類】

A 2 4 F 47/00 (2020.01)

【F I】

A 2 4 F 47/00

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 8 月 13 日 (2021.8.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

エアロゾル送達装置であって、

加熱要素を装備され、メモリに情報が記憶された特定の製剤を有するエアロゾル前駆体組成物を収容する少なくとも 1 つのハウジングであって、加熱要素がエアロゾル前駆体組成物の構成要素をアクティブ化して気化させるように制御可能である、ハウジングと、

可変であり加熱要素の温度に比例する抵抗を有する測温抵抗体 (R T D) であって、加熱要素の温度に関して不変である抵抗温度係数も有する、R T D と、

エアロゾル前駆体組成物の構成要素をアクティブ化して気化させるように、加熱要素に電力を方向付けるように構成される制御構成要素であって、R T D の抵抗を測定し、それから加熱要素の温度を決定し、そのように決定された温度に基づいて、リアルタイムで少なくとも 1 つの機能的な要素を制御するように構成され、少なくとも 1 つの機能的な要素の制御が、温度と、特定の製剤のための温度を提供する情報とに基づく加熱要素への電力の調整を含む、制御構成要素と

を含むエアロゾル送達装置。

【請求項 2】

R T D が、加熱要素と一体化されており、エアロゾル前駆体組成物の構成要素を気化させるために熱を発生するように構成された R T D 要素を含む、請求項 1 に記載のエアロゾル送達装置。

【請求項 3】

R T D が、白金 (P t)、チタン (T i)、銅 (C u) もしくはニッケル (N i) を含む元素、またはそれらの少なくとも 1 つの合金から形成される、請求項 1 に記載のエアロゾル送達装置。

【請求項 4】

少なくとも 1 つの機能的な要素の制御が、ディスプレイによる提示のための加熱要素の温度の出力を含み、

ディスプレイが遠隔ディスプレイであり、エアロゾル送達装置は、制御構成要素に連結され、遠隔ディスプレイへの温度の無線通信を可能にするように構成された通信インターフェースをさらに備える、請求項 1 に記載のエアロゾル送達装置。

【請求項 5】

制御構成要素が、ユーザインターフェースから温度に基づく設定を受け取るようにさらに構成され、制御構成要素が、温度に基づく設定に従って加熱要素に電力を方向付けるように構成される、請求項 1 に記載のエアロゾル送達装置。

【請求項 6】

ユーザインターフェースが遠隔ユーザインターフェースであり、エアロゾル送達装置が、制御構成要素に連結され、遠隔ユーザインターフェースからの温度に基づく設定の無線通信を可能にするように構成される通信インターフェースをさらに備える、請求項 5 に記載のエアロゾル送達装置。

【請求項 7】

カートリッジが制御構成要素を装備される制御本体と連結される、エアロゾル送達装置のためのカートリッジであって、

メモリに情報が記憶された特定の製剤を有するエアロゾル前駆体組成物を保持するように構成されたハウジングと、

カートリッジが制御本体と連結されるアクティブモードで動作するように構成される加熱要素であって、アクティブモードの加熱要素は、エアロゾル前駆体組成物の構成要素をアクティブ化して気化させるように、制御構成要素によって制御可能である、加熱要素と、

可変であり加熱要素の温度に比例する抵抗を有する測温抵抗体 ( R T D ) であって、加熱要素の温度に関して不変である抵抗温度係数も有する R T D と

を備え、

R T D の抵抗が、R T D の抵抗を測定し、それから加熱要素の温度を決定し、そのように決定された温度に基づいてリアルタイムで少なくとも 1 つの機能的な要素を制御するように構成された制御構成要素により、測定可能であり、少なくとも 1 つの機能的な要素の制御が、温度と、特定の製剤のための温度を提供する情報とに基づく加熱要素への電力の調整を含む、カートリッジ。

【請求項 8】

R T D が、加熱要素と一体化されており、エアロゾル前駆体組成物の構成要素を気化させるために熱を発生するように構成された R T D 要素を含む、請求項 7 に記載のカートリッジ。

【請求項 9】

R T D が、白金 ( P t ) 、チタン ( T i ) 、銅 ( C u ) もしくはニッケル ( N i ) を含む元素、またはそれらの少なくとも 1 つの合金から形成される、請求項 7 に記載のカートリッジ。

【請求項 10】

少なくとも 1 つの機能的な要素の制御が、ディスプレイによる提示のための加熱要素の温度の出力を含み、

ディスプレイが遠隔ディスプレイであり、エアロゾル送達装置は、制御構成要素に連結され、遠隔ディスプレイへの温度の無線通信を可能にするように構成された通信インターフェースをさらに備える、請求項 7 に記載のカートリッジ。

【請求項 11】

制御構成要素が、ユーザインターフェースから温度に基づく設定を受け取るようにさらに構成され、制御構成要素が、温度に基づく設定に従って加熱要素に電力を方向付けるように構成される、請求項 7 に記載のカートリッジ。

【請求項 12】

ユーザインターフェースが遠隔ユーザインターフェースであり、エアロゾル送達装置が、制御構成要素に連結され、遠隔ユーザインターフェースからの温度に基づく設定の無線通信を可能にするように構成される通信インターフェースをさらに備える、請求項 11 に記載のカートリッジ。

【請求項 13】

制御本体が加熱要素および測温抵抗体 ( R T D ) を装備されたカートリッジと連結され

る、エアロゾル送達装置のための制御本体であって、メモリに情報が記憶された特定の製剤を有するエアロゾル前駆体組成物を収容し、RTDが可変であり加熱要素の温度に比例する抵抗を有し、RTDは加熱要素の温度に対して不変である抵抗温度係数も有し、

エアロゾル前駆体組成物の構成要素をアクティブ化して気化させるように、加熱要素に電力を方向付けるように構成される制御構成要素であって、RTDの抵抗を測定し、それから加熱要素の温度を決定し、そのように決定された温度に基づくリアルタイムでの少なくとも1つの機能的な要素を制御するように構成され、少なくとも1つの機能的な要素の制御が、温度と、特定の製剤のための温度を提供する情報とに基づく、加熱要素への電力の調整を含む制御構成要素

を含む制御本体。

【請求項14】

RTDが、加熱要素と一体化されており、エアロゾル前駆体組成物の構成要素を気化させるために熱を発生するように構成されたRTD要素を含む、請求項13に記載の制御本体。

【請求項15】

RTDが、白金(Pt)、チタン(Ti)、銅(Cu)もしくはニッケル(Ni)を含む元素、またはそれらの少なくとも1つの合金から形成される、請求項13に記載の制御本体。

【請求項16】

少なくとも1つの機能的な要素の制御が、ディスプレイによる提示のための加熱要素の温度の出力を含み、

ディスプレイが遠隔ディスプレイであり、エアロゾル送達装置は、制御構成要素に連結され、遠隔ディスプレイへの温度の無線通信を可能にするように構成された通信インターフェースをさらに備える、請求項13に記載の制御本体。

【請求項17】

制御構成要素が、ユーザインターフェースから温度に基づく設定を受け取るようにさらに構成され、制御構成要素が、温度に基づく設定に従って加熱要素に電力を方向付けるように構成される、請求項13に記載の制御本体。

【請求項18】

ユーザインターフェースが遠隔ユーザインターフェースであり、エアロゾル送達装置が、制御構成要素に連結され、遠隔ユーザインターフェースからの温度に基づく設定の無線通信を可能にするように構成される通信インターフェースをさらに備える、請求項17に記載の制御本体。